

奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター内） **Nara IDSC**

今週の概要

- 第 41 週の感染症情報
- 流行感染症情報：デングウイルス感染症（デング熱、デング出血熱）
- 全数把握対象感染症発生状況（平成 25 年 9 月）
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（9 月月報）

第 41 週の感染症情報（10 月 7 日(月)～10 月 13 日(日)）

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	2.18	→	→～↑	→	→～↓
2	手足口病	0.82	→～↓	↓	→～↑	↓
3	RS ウイルス感染症	0.68	→	→	→	↓
4	水痘	0.62	→～↑	→	↑	→～↓
5	A 群溶連菌咽頭炎	0.38	→～↑	↑	→～↑	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数（40→41 週）は 86→74 例と推移した。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎（29→34 例）、②水痘（14→11 例）、③手足口病（16→8 例）、④突発性発しん（7→7 例）、⑤RS ウイルス感染症（9→6 例）、眼科定点の報告は流行性角結膜炎が 1 例あった。基幹定点の報告はなかった。

（有山 記）

県中部地区概況 報告数は 97 例で、前週報告の 84 例から増加。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③RS ウイルス感染症、④水痘、⑤A 群溶連菌咽頭炎の順。感染性胃腸炎の報告数（36 例）は、増加。手足口病の報告数（20 例）は、再度増加した。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（8 例）は、やや増加。水痘の報告数（9 例）も、やや増加。RS ウイルス感染症の報告数（15 例）は、ほぼ横ばい。桜井 HC および葛城 HC 両管内基幹定点からの報告は共になかったが、葛城 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎が 1 例報告された。

（村井 記）

県南部地区概況 報告数（40→41 週）は 24→13 例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（13→4 例）、②咽頭結膜熱（1→3 例）、③RS ウイルス感染症（3→2 例）、④水痘（2→1 例）、④伝染性紅斑（0→1 例）、④突発性発疹（1→1 例）、④ヘルパンギーナ（1→1 例）であった。

（柳生 記）

《流行感染症情報：デングウイルス感染症（デング熱、デング出血熱）》

国立感染症研究所は、国内のデング熱患者（輸入症例）が、過去最多のペースで増加していると報告しています。例年 100 例前後で推移していましたが、今年は 10 月 11 日現在で 203 例となっています。特に、シンガポールでは、昨年比 5.2 倍の発生があり、大流行の可能性がります。また、フィリピンマニラ周辺ではチクングニア熱も流行しているようです。

本県でもインドネシアから帰国した男性患者から、遺伝子検査によりデングウイルスを検出しました。デングウイルスは、ヒト→蚊→ヒトと感染します。デングウイルスを媒介する蚊はヒトスジシマカなど、身近にいるものです。流行地域から帰国後、発熱・筋肉痛・関節痛などの症状がある方は、国内流行防止の点から蚊に刺されないよう病院に入院するか、症状が治まるまで自宅療養し戸外に出ないようにしてください。

感染症情報センターホームページ
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>



【全数把握対象感染症発生状況（平成25年9月）】

平成25年9月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下のとおりです。

9月報告患者数（平成25年10月17日現在）

類型	疾患名\保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	計
2類	結核	4	7	7	2	4	1	25
3類	腸管出血性大腸菌	1		1	2			4
5類	アメーバ赤痢	1						1
5類	梅毒	1						1
5類	破傷風		1					1
5類	風しん			1	1			2

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（9月）】

平成25年9月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・性感染症患者数（人）

疾病名\報告月	9月		前月（8月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	10	1.11	4	0.44
性器ヘルペスウイルス感染症	2	0.22	2	0.22
尖圭コンジローマ	0	0	0	0
淋菌感染症	3	0.33	2	0.22

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾病名\報告月	9月		前月（8月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	31	5.17	29	4.83
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	1	9	1.5
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	1	0.17
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0